

きゆう
杞憂きそ
基礎 ④

杞憂

(中国の古い話)

昔、中国の杞^きという国に、心配性の男がいました。

ある日、男は、空を見上げて考えこみました。「もしも、空がくずれ落ちてきたら、どうしよう。地面がしずんでしまったら、どこへにげればよいのだろう。」

男は、そのことが心配で心配で、夜もねむれず、食事ものを通らなくなってしまいました。

その様子を見て、友人がやってきて、男に言いました。

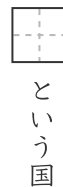
「空というのは、空気が集まってできているだけだ。わたしたちは、一日じゅう、その中で体を動かし、息をしているじゃないか。くずれ落ちてくる心配はないよ。地面も、土がぎっしりつまっているのだから、しずんでしまうことはないさ。」

それを聞いた男は、ようやく安心して、大いによろこびました。友人も、男が元気になったのを見て、よろこびました。

心配することは、悪いことではありません。けれども、起こりそうもないことを心配しすぎると、毎日楽しくすごせなくなってしまうます。

この話から、必要のない心配をすること、取りこし苦勞のことを、「杞憂^{きゆう}」というようになりました。

1 男は、どこの国の人ですか。



という国

2 男が心配していたことは、何ですか。

ア 空がくずれ落ちたり、地面がしずんだりすること
イ 作物がとれなくなるること
ウ 友人がいなくなるること

3 心配のあまり、男はどうなってしまいましたか。



ものどを通らなくなった。

4 「杞憂^{きゆう}」の意味に合うものに、○をつけましょう。

ア 必要のない心配をすること
イ 空をよく観察すること
ウ 友人を大切にすること